

## 施設（諸室）データ

### ☆建築のコンセプト ～道が繋ぐ交流びらざ～

#### ■にぎわいとコミュニティを生む「道」の建築

道のような連続的なにぎわいを生み出す開かれた空間「ナカミチ」を提案します。

子供からお年寄りまで多くの市民や観光客が立ち寄り、様々な体験や活動が誘発される、にぎわいの連なる活動の拠点となります。

#### ■まちのHUB（結節点）をつくる

新幹線駅周辺整備計画と連動させた公共空間を「道」として導く事により、人々の活動を誘発します。新しいまちの活動の中継地点をつくります。

#### ■みんなでつかう開かれた建築

芸術・文化振興の拠点として、本格的なホール利用から日常的な市民利用まで幅広く対応可能なホールを計画します。

ナカミチは市民に開かれた活動の場として、様々な催事、活動に合わせて拡張性をもった、みんなでつくる活動の道となります。

### 【規模】

敷地面積 9926.16 m<sup>2</sup>

建築面積 3211.97 m<sup>2</sup>

延床面積 3870 m<sup>2</sup>

最高高さ 21m

地上3階建

構造 RC造・鉄骨造

## 【施設案内】

### ◆ 大ホール

---

大ホールは、音楽、演劇、講演会、軽運動、商業活動など様々な利用に対応できる可動席の多目的ホールとします。また、壁の一部を開放し、ナカミチと一体的な利用を可能とします。

#### ◇客席

〈通常レイアウト〉 592 席

〈拡張座席〉 736 席 (前方昇降床を舞台レベルに合せ、スタッキングチェアによる増席)

※席数は親子観覧席を除いた数、車椅子席は着脱式可動座席を移動しスペースを確保します。

#### ◇舞台

主舞台 幅 16.6m×奥行き 10m

袖舞台 上手幅 4.7~9.1m×奥行き 5.5~10m、下手幅 3.3m×奥行き 10m

舞台搬入口 幅 3.8m×奥行き 9.4×高さ 6.9m

#### ◇平土間形式 ※座席を収納し前方昇降床を舞台レベルに合せ、平らな床のまま利用ができます)

舞台 294 m<sup>2</sup>

客席エリア 342 m<sup>2</sup>

#### ◇楽屋 ※イベントのない平時は、一般利用します。

大楽屋 2F 1室 (12~20名程度利用可能)

小楽屋 1F 2室 (3~5名程度利用可能)

### ◆ 小ホール

---

小ホールは、音楽や講演会、小中学校や高校などの音楽等発表会などに利用できる固定席を持ったホールとします。

#### ◇客席 192 席

※席数は親子観覧席を除いた数、車椅子席は着脱式可動座席を移動しスペースを確保します。

#### ◇舞台

主舞台 幅 10m×奥行き 5.5m

舞台搬入口 幅 3.2m×高さ 3m

#### ◇楽屋

大楽屋 2F 1室 (20~30名程度利用可能) ※イベントのない平時は一般利用します。

小楽屋 1F 1室 (3~5名程度利用可能)

## ◆交流施設

---

- ◇ 多目的ルーム 185 m<sup>2</sup>  
会議、展示、軽運動、講習会など市民が日常的に、そして様々な活動に利用できる空間とします。
- ◇ 多目的室 24 m<sup>2</sup>（防振遮音構造）  
軽音楽など防音構造のスタジオとして設けます。  
※大ホール、小ホールの楽屋についても、イベントのない平時は多目的室としての利用できるようにします。
- ◇ ナカミチ 690 m<sup>2</sup>  
ナカミチ全体を使ったイベントや、友人との会話を楽しんだり、親子のふれあい、冬のことも遊び場、市民展示など様々な活動の規模にあわせた利用ができるようにします。
  - ・エントランス・ロビー
  - ・カフェ
  - ・ホワイエ
  - ・親子スペース
  - ・企画イベントスペース

## ◆その他施設

---

- ◇ 広場・庭  
敷地全体に広がる広場、庭で、発表や運動、遊びなどにぎわいをつくりだし、ぷらざとまちを繋いでいきます。
  - ・発表の庭
  - ・運動の庭
  - ・遊びの庭
  - ・鑑賞の庭
- ◇ 駐車場 約80台（普通車、大型車、身障者用）  
大きなイベントが開催される時は、周辺の施設（総合学習センター、新駅駐車場）と連携して必要台数を確保します。